

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 491 号	氏名	荒木 伸子
学位審査委員	主 査 佐々木 均 副 査 西田 教行 副 査 宮崎 泰司		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、菌体による粘液過剰分布による気流制限に対するアジスロマイシンの有効性を調べたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 気道上皮細胞 NCI-H292 細胞を用い、インフルエンザ菌破砕物の刺激に対するアジスロマイシンの影響を、ムシン産生、mRNA 発現量、転写因子の活性化を測定することで検討しており、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 インフルエンザ菌の刺激により、気道上皮細胞からの MUC5AC の発現・産生が誘導され、アジスロマイシンが抑制することを明らかにした。また、この抑制が activator protein-1(AP-1)の抑制を介して作用することを明らかにした。これらの知見は、今後の感染症治療に対する応用が期待される。分</p> <p>以上のように本論文は感染症研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			